

公明党

鯨井眞佐子  
京増 良男  
新宅 雅子  
川上 雄次

個人  
質問  
新宅 雅子

◆幼小中高連携教育について

**問** 幼小中高連携教育の目的は何か。

**教育長** 現在のように急激な社会の変化の中を生きる子どもたちに、自己を見失わず、自ら行動を選択、決定、実行し、その結果に責任を持つことのできる力、すなわち生きる力を身につけた子どもたちの育成であるというふうに認識しています。

**問** 公開授業はどういう形で、どのくらいの規模で行うのか。

**教育長** 授業開催日を11月12日(金)としまして、市内の23園校が一斉に授業、保育公開を予定しています。参加者は保護者、地域の方々、また市外の教育関係者が参観するものと予測しています。市民の皆さんへ幼小中高連携教育のさらなるご理解

と今後も充実、発展させていくことにより子どもたちの健全育成を図りたいと考えています。

**問** 公開授業を行うにあたっての予算措置は、どのようなになっているのか。

**教育長** 9月補正予算協議で、予算措置をしたいと考えています。

◆介護・高齢者福祉対策

(1)高齢者の虐待について

**問** 日常的な相談、受付はどのようになっているのか。また、虐待者、被虐待者への支援をどのように考えているか。

**市長** どのような方法が最善の解決策になるのか、相談内容によって福祉事務所または、介護関係を窓口として対応したいと考えています。

**問** 健康寿命の増進のために高齢者筋肉トレーニングの導入を望むが如何か。

**市長** ご質問の高齢者筋肉トレーニングは、介護予防事業として注目を浴びており、国の介護予防、地域支援合い事業では、15年度の新規事業として高齢者筋力向上トレーニング事業が盛り込まれました。本市にお

いても軽度の要介護者や自立した高齢者が本格的な要介護状況に陥るのを防ぐためには、本事業をはじめとした介護予防への取り組みが欠かせません。

コストの問題をはじめ専門職員の不足等の問題がありますが、今後、取り組みができるように努めます。

◆環境問題

**問** 蛍光灯の適正処理を望むが如何か。

**市長** 環境保全の観点からは、自然界への水銀の飛散防止が強く望まれ、また現在では蛍光灯の再資源化ルートが確立されていますので、今後は蛍光灯の割れやすいという特徴に対応した収集・保管方法を検討し、再資源化を図ります。

個人  
質問  
鯨井眞佐子

◆学校給食事業の課題について

**問** 栄養面については、どのように努力されているのか。

**教育長** 栄養面では、所要栄養量の基準に基づいて献立を作成しており、児童生徒の発育、成長に必要な

たんぱく質やエネルギーのほか、栄養素として不足がちであるカルシウム、鉄、亜鉛、ビタミン類などを含む小魚や貝類、海藻、青菜等を多く取り入れ、バランスのとれた給食が供給できるよう努力しています。

**問** 今年度の給食に八街産の野菜をどう取り入れていくのか。

**市長** 学校給食センターが平成15年度に使用した野菜のうち、千葉県産が約半分を占めており、八街で生産されているニンジン、ダイコン、ゴボウ、ジャガイモ、小松菜、ほうれん草なども市内の青果市場に出荷されていますので、学校給食の

献立作成に当たってはその野菜を取り入れたおいしい給食が供給できるよう努めています。

◆廃食用油の有効利用について

**問** 廃油石けんへの活用をどう考えるか。また、バイオディーゼルへの活用をどう考えるか。

**市長** 廃油石けんの活用は、NPOなどを中心に行われており、資源循環型社会の形成に向けた方策の一つとして有望視されています。次にバイオディーゼルへの活用は、一部の自治体や事業所が既に導入し、その成果や問題点などが徐々に報告されています。廃油石けんの活用、バイオディーゼル燃料化事業を行って

◆市民サービスについて

**問** 市民の多くの皆様が望んでいる、土日開庁についての取り組みは如何か。

**市長** 7月の最終日曜日から実施する予定なので、ご理解をお願いします。

**問** 祭日のゴミ収集をしていただきたいという要望が多いが、その取り組みは。

**市長** 廃棄物の減量化、再資源化を積極的に進めていくことが重要な責務であると考えますので、現在のところ祭日のごみ収集については考えていません。しかし、廃棄物の処理に関する事業は市民の日常生活に密着した行政サービスの一つですので、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る観点から、今後は必要なものと考えています。

◆防犯ブザーについて

**問** 市民の多くの方々に望まれている防犯ブザーの貸与の取り組みは如何か。

**教育長** 防犯ブザーの貸与は、現段階においては予定していません。市では、現在の防犯対策を継続し、幼小中学校ではさらに定着していきたいと考えています。



▲学校給食センターでの調理風景

報告されています。廃油石けんの活用、バイオディーゼル燃料化事業を行っている自治体や事業所の状況等を十分に調査し、財政状況を考慮しながら検討します。